

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 31 年 3 月 21 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3491100289		
法人名	株式会社アバーン・ケア		
事業所名	グループホーム なでしこ		
所在地	尾道市吉和町5122-1 (電話) 0848-25-2772		
自己評価作成日	平成31年2月22日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3491100289-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成31年3月11日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

開所から7年を迎えました。長く在籍されている入居者の方々のご高齢になられ、一緒に家事などが出来にくくなってきているように感じております。そんな中でも何か楽しみを持って生活して頂けるように入居者と職員が一緒になり、季節に合わせた貼り絵などを作成しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は閑静な住宅街にあり、町内会に加入し祭りや敬老会の参加や近隣の幼稚園の園児やボランティアに事業所に来てもらうこともあり、日常的に地域との交流を行っている。事業所は広い敷地を利用した2ユニットで、大きな吹き抜けやウッドデッキ、庭もあり開放的な雰囲気です。個々の利用者の生活歴と意向に沿いながら、家事、レクリエーション、外出、地域交流など、家庭的な雰囲気の中で楽しく過ごせる支援を行い、事業所理念を具現化している。運営推進会議は家族会を兼ねて行っており、意見を汲み取りやすい仕組みで、運営に活かしやすくなっている。職員の定着率もよく、介護福祉士資格を持っている者が多く、定期的なカンファレンスを行ったり、意見交換をしながら質の高いサービスが提供できる体制が整っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。</p>	<p>法人の基本理念を玄関ホールと各ユニットの壁面に掲示して、職員に周知させている。</p>	<p>法人の理念、実践状況などについて年始めに各職員にアンケートをとるため、職員一人ひとりが理念を周知し、日々の関わりやケアを行っている。</p>	<p>理念に基づき職員が年1回アンケートを記入しているが、目標などについての個人での振り返りや個別面談などで評価、具体化した上で、次のステップへの取り組みが行えるように期待します。</p>
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	<p>地元の町内会に加入しており、敬老会やお祭りなどにお招き頂き参加している。</p>	<p>地域行事のお知らせが定期的に来て、お祭り、敬老会、文庫まつり、清掃活動など積極的に参加している。また、事業所の畑を低額で地域の人に貸したり、災害時に近隣の施設や近所の人に支援して頂いたこともあり、日常的に地域との付き合いがある。</p>	
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>敷地入口に掲示板を設置し、施設だよりや運営推進会議の案内、議事録を掲示している。</p>	/	/
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>運営推進会議で、施設行事や事故の報告などを行い、ご家族から出た意見や要望をまとめ他の家族の方に資料を送付している。</p>	<p>運営推進会議は家族会を兼ねて実施しており、利用者、家族、地域包括支援センター、民生委員等の参加がある。会議の意見をもとに、外出の計画や、食べ物の持ち込みについて制限するなど運営に活かした事例がある。</p>	
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>施設内で発生した病院受診を伴った事故は、事故報告として滞りなく提出している。また、運営上の疑問があれば市町担当者に相談している。</p>	<p>運営推進会議に地域包括支援センターの職員が出席し、その際に事業所の状況を伝えている。また、地域包括支援センターの要請で地域ケア会議の参加や高齢福祉課から研修参加の連絡や認知症カフェの開催について相談を受けたり、協力関係がとれている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止に関する指針を作成し、社内研修の形で職員への周知に努めている。運営推進会議の席でもご家族に説明や意見を交わしている。</p>	<p>身体拘束についての研修を定期的に行い、職員は「身体拘束をしないケア」についての理解、周知ができており、実際に身体拘束を行った事例もない。利用者の個々の状態を把握しながら、ケア、対応を工夫しながら実践している。スピーチロックについても日頃から職員がお互いに声を掛け合いながら気を付けている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>定期的な声掛けや、接遇、対応などを振り返る機会を設け、不適切な対応になっていないかを調査して定期的に職員間で情報が共有できるように努めている。ご家族にもこの取り組みを説明している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>実際に成年後見に携わっている職員から情報提供を得ている。また、成年後見人が就任している入居希望の方も受け付けている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居契約時に内容の説明を行い、利用者や家族などの不安や疑問点などがある場合はその都度対応している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に苦情受付箱を設置している。また口頭でのご意見も常に受け付けている。</p>	<p>運営推進会議を兼ねて2ヶ月に1回家族会を行っており、その際に意見をいただいたり、面会時に随時要望を聞いている。家族から「タンスに他利用者の衣類が混ざっている」と要望を受け改善した事例がある。家族から頂いた意見はケアカンファレンス、申し送りノートを通じて職員に伝わる体制になっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	毎月、職員会議を行い意見や提案を聞く機会を設けている。	ケアカンファレンスや日頃の中でも職員から意見や提案を聞く機会を設けている。移乗技術を学びたいという意見から理学療法士を招いて研修会を行ったり、希望に応じ人事異動を行うなど職員の意見に柔軟に対応し、運営に反映させている。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	勤務時間内で業務が終了するよう業務内容を調整している。必要な残業に対しては法に定められた手当を支給している。		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	施設外の研修参加については、充分には行えていない。社内研修として理学療法士をお招きして移乗方法などを学んでいる。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	近隣の同業施設「にしごこの家」さんの行事に参加させて頂いている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	本人の生活歴や病歴などの把握に努め、本人が現在困っていることや不安に感じていることなどを聞き取りながら会話することで信頼関係の構築に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族の方が持っている不安な事や思いを聞きながら、家族のご意向も聞き取れるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人や家族の意向をもとに実際の生活状況を把握し、その方に合ったサービスについて家族を含め検討している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>身体動作が可能な入居者の方には積極的に家事を行ってもらっている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>病院受診など可能であればご家族にお願いしている。状態の変化などがあった場合は常に連絡、報告をして情報を供給するように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>特に面会時間は定めておらず、家族、友人など自由に来所できるように努めている。また、ご本人やご家族から希望があれば自己管理で携帯電話も所持して頂き、自由に通話をして頂いている。</p>	<p>事業所には地域の利用者も多く、家族だけでなく友人、近所の人にも面会に訪ねてくる。馴染みの場であるお宮等に出かけたり、家族の支援により自宅への外出、外泊、外食などもある。利用者の希望により、家族に電話をかけた後、年賀状を出すなど関係継続の支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	一緒に家事や作業ができる方は職員も一緒になり関係作りに努めている。他者とのコミュニケーションが困難な方には職員が間に入ってコミュニケーションが取れるよう配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	在籍中はもとより、退居後にお亡くなりになった方の葬儀にも参列している。また、看取りを体験されたご家族には、その思いをグリーフケアとして運営推進会議の場にお招きしてお話を頂いている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	意思の表出が困難な入居者さんには、生活歴や家族の話をもとにご本人の意向を探ろうとしている。	日頃の関わりの中や生活歴を紐解くなどの取り組みで利用者個々の思いや意向を探っている。手芸や家事を行ったり、外出ドライブを行うなど個々の利用者の思いや生活スタイルに沿った支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時に、本人や家族から施設職員が知りえても良い範囲で生活歴を伺い、また前事業者からも情報収集している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	今までなかった行動や言動があった場合には個人記録に詳細を記録して職員間に周知させている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人や家族から想いを聞き、担当職員がアセスメントを行っている。それをもとに計画作成者が介護計画を作成している。</p>	<p>本人、家族の意向や利用者の担当職員のアセスメント、意見をもとに介護計画作成者が介護計画を作成している。利用者の状態を把握し、日々の気付きも含まれており、現状に即した内容の計画になっている。モニタリングは事業所独自の書式のもと実施状況、変化など記入し、次回の介護計画作成につなげている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の生活状況を個人ごとに時系列で記録し、行動や言動に変化があればその様子を詳細に記入して職員間で共有できるようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>心身面の状況に変化があった時はご家族に報告し、その都度ご意向を確認してその人に合ったサービスができるように努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>町内の「敬老会」や「お祭り」などに参加しており、その場に馴染みの方々がいれば交流して頂いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>病院受診は基本的にご家族に送迎をお願いしているが、それが叶わない時や緊急時は施設職員で行い、受診結果をご家族に連絡している。</p>	<p>入居時にご本人、ご家族の希望を伺いかかりつけ医を決めている。そのため、入居前から継続したかかりつけ医に診てもらっている利用者が殆どである。歯科による往診もあり、適切な医療を受けられる体制を整えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	週1日出勤の非常勤看護師に、状態の変化があった入居者の様子を記録や口頭で説明している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時には施設での生活状況がわかる様に介護サマリーを作成して医療機関に提出している。また、入院中もお見舞いを兼ねて随時病棟の担当看護師に経過を尋ねている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	終末期についての相談を施設側からご家族はなかなか申し出にくい面があるので、主治医とご家族との面談の場を設定してご家族（ご本人）の意向をもとに施設での対応を検討している。	本人、家族の意向のもとかかりつけ医との面談の上、事業所で看取りを行える体制がとれている。看取り時はカンファレンスを行い、方針、対応方法を決め、職員にも申し送りにより統一した適切な支援が行えるよう取り組んでいる。看取り時は家族が宿泊できる環境も整えている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	緊急時に備えマニュアルを作成している。個別に対応が必要な場合はその都度マニュアルを作成している。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	消防署職員の立ち合いのもと、夜間想定避難訓練や消火訓練などを定期的に行っている。	定期的な避難訓練を行っており、各職員が通報・避難・消火方法等を身につけている。備蓄は米、カセットコンロ等があり、災害時に備えている。近隣の施設、地域住民と災害時お互いに協力する体制があり、昨年断水時に施設、近隣住民より支援を受けた事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	定期的に自らの声掛けや対応を振り返る機会を設けてスタッフ同士で閲覧できるようにしている。	利用者の個々の人格を尊重した上で丁寧な言葉掛け、プライバシーに配慮した関わりを行っている。職員の接し方で気になることがあれば、職員間で注意を行ったり、カンファレンスの中で話し合い、より適切な支援ができるように取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	声掛けする際に「～しませんか？」や「～はどうでしょうか？」などできるだけ自己決定して頂ける開かれた質問をするよう心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	基本的な一日の流れはあるが、極力、本人のしたい事を優先するように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入居者さんの衣類は毎日洗濯をしている。また、更衣の時にはどの服が良いかご本人に尋ねたりもしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理は外注せずに施設内で自炊している。可能な方には皮むきなど調理のごしらせをしてもらっている。また、本人の嗜好を把握するように努めて出来るだけ意向に沿えるようにメニュー作りを行っている。	食事は3食とも手作りで、メニューは利用者の好みを聞き、その日に変更することや個別に食べたいものを加える事例もあり、柔軟に対応している。近くのスーパーに利用者と一緒に買物に行くことやホットケーキなどのおやつ作りをすることもあり、食事が楽しみになるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事や水分の摂取量を記録に残し、変化がある場合には主治医に報告や相談をして対応の指示を頂き、栄養や水分が確保できるように努めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後には、必ず口腔ケアを行っている。必要な場合は歯科医と連携して受診や往診を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>定期的にトイレの声掛けや誘導を行い、ズボンの上げ下げ動作も極力自分で行うよう促している。</p>	<p>トイレには特殊な手すりを設置し、便座に座って倒した手すりに寄りかかり、腹部に力を入れて自力で排便し易くする工夫もあり、本人の持てる能力を活かせる環境がある。入居時紙オムツを使用していた利用者が2週間で紙パンツになった事例などもあり、排泄の自立に向けての取り組みを日々行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分摂取が困難な方にも水分不足にならないよう、嗜好にあった飲み物をお出ししたり、ミカンなどの水分が多い果物を提供している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>職員の勤務時間の都合上、入浴は午後の時間帯にせざるを得ない状況ではあるが、清潔保持のために必要な時は朝夕を問わず入浴を行っている。</p>	<p>入浴は基本的に週2回で午後に行っているが、本人の意向に応じて時間帯や回数を増やすなど、柔軟に対応している。季節によってはゆず湯などを行い、入浴が楽しくなるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>本人の希望があれば、夜間に影 響がない程度に昼寝を促してい る。意思疎通が困難な方に対 しては座りっぱなしにならない 様に臥床して休息できるように 努めている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>直近の処方箋は個人ファイルに 綴じ、いつでも閲覧できるように している。処方内容に変更があ る場合は往診、受診記録に記載 し申し送りも行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換等 の支援をしている。</p>	<p>生活歴を把握し、編み物や塗り 絵などして楽しんで頂けるよう に努めている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援してい る。</p>	<p>買い物、花見、初詣など随時 外出支援を行っている。また ご家族にも積極的に外出の機 会をお願いして墓参りなどに 連れていってくださっている。</p>	<p>利用者の意向に沿って近隣の 散歩や車でのドライブ、買物、 花見など行っている。家族に よる外出、外泊で自宅に帰 ったり、墓参りを行うなど日 常的に外出が行えるよう支 援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>希望があればご家族にお願 いして幾らかの現金を所持、 管理してもらっている。また 買い物の際は自身でレジの支 払いをして頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>親族や知人からの手紙は直接手渡ししたり、年賀状に一言記入して頂いている。また要望があれば自由に電話してもらっている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>照明や空調はもちろん、温・湿度計、加湿器などの機器を設置して快適に過ごして頂けるように調節している。</p>	<p>リビングは広く天井も高く、開放感もあり、適切な位置でソファも配置され、ゆったりとくつろげる共有空間である。また、利用者と一緒に作成した季節の壁面などの作品も飾られ、温かい雰囲気もある。テーブルの高さは違いがあり、利用者の状態に応じて選択できるよう配慮している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>他ユニット、玄関、自室への移動は自由に行ってもらっている。ソファのレイアウトも考え、自由に会話などができるように配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人が自宅で使用していた馴染みのものを持ち込んでもらったり、昔の写真や、施設で撮った写真を掲示している。</p>	<p>空調設備・ベッド、タンス、カーテンは基本設備で、ご本人の生活上必要な物品は自由に持ち込まれている。自宅で使い慣れた化粧品台、テレビや仏壇を持ち込まれた利用者もいる。写真を飾ったり、本人が居心地よく過ごせるよう環境を工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>歯ブラシ置き場やタオル掛けなどに個人名を書いて各自で出し入れして頂いている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	●	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	●	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	●	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	●	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	●	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームなでしこ

作成日 平成31年4月29日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	管理者以外、施設外研修に参加できていない。(前回からの継続)	研修参加の機会を増やす。	順次、各職員の経験・能力に見合った社外研修の参加を促す。	1年間
2	42	全職員で統一された手法の口腔ケアが実施されていない。	入居者さん方の口腔内のトラブルをなくす。	口腔ケアに関する研修を実施して職員の認識を高めると同時に、必要に応じて歯科医による診断を受けて頂く。	1年間
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。